

今日は、まず先週折ボルトの除去の際に痛めてしまったメネジの修正方法について調べました。

インサートねじというバネのようなネジの部分壊れたメネジに入れる「リコイル」という方法をインターネットで調べ、必要な工具類をリストアップしました。インサートねじ自体は数百円と安いのですが、それを入れるのに必要な工具は数千円～1万円と高額でびっくりしました。



インターネットでやり方や必要な工具を調べます



カタログで値段を調べ、「先生！たっ、高いです！」と報告

次にリコイルが成功した後の組み立て準備をしました。ピストンにはピストンリングというシリンダーとの隙間を埋める部品があるのですが、組み立て前はシリンダーの内径より大きいのです。このピストンリングを縮める「ピストンリングコンプレッサ」という工具があるのですが、これが高価なのです。これもインターネットで調べ、空き缶とホースバンドを組み合わせて行う方法を見つけ、その実験を行いました。



ピストンよりピストンリングの径が大きいのがわかります



空き缶とホースバンドでピストンリングを縮めます

旧車両については自作部品を旋盤で修正し、使用できる状態に組み上げました。



Y君とW君で旋盤を使って、寸法の修正をしました



動作不良が解消しました